

中耕・追肥・培土

▶ 定植後20日位までに追肥を行います。倒伏防止に中耕土寄せを行いましょう。

乗用管理機用作業機

ミッドマウント管理作業車
+3連中耕ロータリー
(幅狭カバー付)+培土器
MD20,APV(U)
+**RM301MD,CRTH**
(+**RM301MD-HK,CRTHA**)
+イエロー培土器MD
(7S0076-12000)×3個



乗用管理機
+ロータリーカルチ
+イエロー培土器
HVシリーズ
+**CR33YB+YL12-3**



ミッドマウント管理作業車
+除草カルチ



〈キューホー〉

トラクター・管理機用作業機・専用機

ロータリーカルチ

〈松山・小橋工業・
ササキコーポレーション〉



除草カルチ

〈キューホー〉



1輪管理機+培土器
YK650SK-D
+ステンレス培土器STR35
(7S0022-34000)
+PSC肩削りロータ
(7S0011-85001)

〈ササオカ・小川農具製作所〉



防除

▶ コナガ・アブラムシなどの病害虫に対しては、早期防除を心がけましょう(4〜5回)。

乗ってラクラク防除作業!
フルキャビンハイクリブーム
BSA-650C
(薬液タンク600L)
BSA-950C
(薬液タンク850L)
〈丸山製作所〉 BSA-650CEG6-3



作物の薬液付着率アップ。
ドリフトも軽減する静電ノズル搭載!
ハイクロブームスプレーヤ
BSK3042YAES
(薬液タンク300L)
〈有光工業〉



静電ノズル
の効果が
見れます

収穫・運搬

▶ 定植後50日〜60日で収穫できます。できるだけ早く収穫物の温度を下げるようにしましょう。

野菜作業車
NCシリーズ

● うねサイズや作物の高さに合わせて、トレッドや荷台高さ、荷台幅が変えられ、収穫作業がスムーズに行えます。

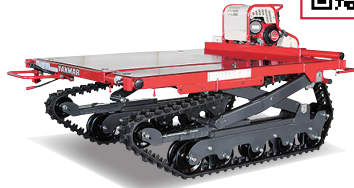
NC14,AHW

最大積載量:300kg
最低地上高:610〜910mm
トレッド:1150〜2100mm
(無段階調節)



NC16A,AHW

最大積載量:500kg
最低地上高:430〜780mm
トレッド:1070〜1870mm
(無段階調節)



NC20S,W

最大積載量:1000kg
最低地上高:585mm
トレッド:1000〜1800mm(無段階調節)



作業の動画が
見れます



※作業能率は、一定条件での値となります。目安としてご参照ください。

ヤンマーアグリ株式会社

〒702-8515 岡山県岡山市中区江並428
yanmar.com

⚠ 安全に関するご注意

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 無理な運転は商品の寿命を縮め、故障・事故の原因となることがあります。
- 故障・事故を未然に防止するため、定期点検は必ずおこなってください。
- 保証書は、ご購入の取扱いい店で必ずお受け取りください。

商品についてのご意見、ご質問は下記へ



YANMAR

ブロッコリー機械化システムカタログ

転作をお考えの方にも、これまでも栽培をされていた方にも!

ヤンマーは、機械化一貫体系で、 ブロッコリーづくりを応援します!



育苗・播種



移植



中耕・追肥・培土



防除



収穫・運搬



北海道版

ブロッコリー 機械化システム



●ブロッコリーの 作型(代表例)

- ：播種
- ：定植
- ：収穫

地域	作型	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
道 南	春まき				●	●	●	■						
	初夏まき					●	●	●	●	■	■	■		
道 央	春まき			●	●	●	■							
	初夏まき				●	●	●	●	●	■	■	■		
道東北	春まき			●	●	●	■							
	初夏まき				●	●	●	●	●	■	■	■		

育苗(セル苗づくり)・播種

- ▶セル育苗の場合は、養土充填後にかん水し、均一な播種を心がけましょう。種子はLコートが一般的です。春まきでは25～30日、初夏まきでは25日として育苗します。野菜づくりは「苗づくり」が決め手です。純正資材でセル成型づくりを!

セル苗づくりの
ノウハウをまとめた
育苗読本を
ご用意しています!



野菜育苗資材



〈オギハラ工業〉

●栽培開始までに行う「土づくり」

基肥投入

基肥投入肥料は3元素のほか、マグネシウム・カルシウムの不足に注意しましょう。

有機物投入

堆肥は10a当たり2～2.5tが目安です。

酸度矯正

pHは6.0～6.5程度にしましょう。

播種機

野菜播種機 SV410,AL128

- トレイ連続供給(最大20枚)→養土充填→かん水→鎮圧穴あけ→播種→覆土→かん水の一連作業が自動で行えます。410箱/時の高効率作業が可能です。



※Lコート種子専用

吸引精密播種装置 YVR100A(N)A

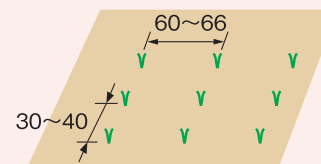
- 上部の吸引板で種子を吸引し、反転後、放出することで確実に播種します。



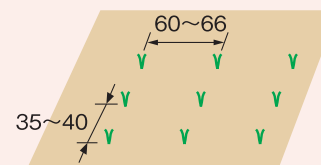
作業能率:100箱/時
※コート種子、裸種子

●株間・条間(単位:cm)

〈春まき〉



〈初夏まき〉



移植

- ▶本葉3～4枚で定植します。夏期は活着促進のため、植付け後に十分なかん水を行いましょう。

汎用タイプ移植機

純正トレイに限らず、さまざまなセル成型苗やポット苗などが植付けできる汎用野菜移植機です。

ヤンマー乗用汎用野菜移植機

PH20R PH20R,KS PH20R,KSH

1畦2条千鳥植え・1畦1条千鳥植え(同時2条)

- 乗りながらロータリーポットに苗を入れるだけ。イスに座って作業できるため、苗の供給に集中できます。
- 1人で2条を同時に植付けることができるので、作業者の負担を大幅に軽減します。

乗用型



PH20R,KS

ヤンマー汎用野菜移植機

PH1,A 1畦1条植え PH1,WA 往復2条植え

- うね高さや作業者の体格に合わせてハンドル高さをワンタッチで4段階に調節できます。旋回時には、ハンドルを上側にセットすることで、かがまず、ラクに旋回できます。

歩行型



PH1,A

全自動タイプ移植機

セル成型苗をトレイごとセットするだけで、自動的にトレイから1株ずつ引抜いて植付ける全自動移植機です。

ヤンマー全自動野菜移植機

PW10 1畦1条植え PW10,W 往復2条植え PW10C 1畦1条植え

- セル成型苗をトレイにセットするだけの全自動タイプ。植付速度0.52m/秒とスピーディな植付けで、移植作業を大幅に省力化できます。

作業の
動画が
見れます



歩行型



PW10C

ヤンマー乗用全自動野菜移植機

PW20R(RS)

1畦1条(同時2条)植え・1畦2条植え

- 歩行型全自動移植機の約2倍の高効率作業で、移植作業の大幅な省力化に貢献。乗って作業できるので、作業者の疲労も大幅に軽減されます。
- 苗つき回数を少なくするため、野菜トレイは苗載せ台に4枚、予備苗台に12枚の合計16枚の積載が可能。苗つぎのタイミングは警報ブザーで知らせてくれるため、欠株の心配がありません。

作業の
動画が
見れます



乗用型



PW20R

トラクター作業機

さまざまな株間に対応し、背丈のある苗もしっかり移植できます。

汎用野菜移植機

TRIUM 2条植え

- ユニットを水平に保ったまま地面の凹凸に正確に追従し、常に一定の植付深さを維持します。



〈チェック&マグリ〉

高効率作業可能な12穴ターンテーブル式!

スライドシャッター方式を利用しているため、従来気味の苗の植付けも可能です。



苗の状態に合わせ調製可能な覆土輪!

V字スチール型の覆土輪を採用し、スクレーパーも標準装備。苗の状況やほ場に合わせて最適な覆土状態を実現することができます。

